

私たちはボランティア精神のもと  
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

# 会報/市民後見人の会 No. 134

2019年1月24日発行 通巻No.144号

創刊2007年2月27日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

## ◆受任第21号男性永眠◆

～謹んでご冥福をお祈りいたします～

本会が受任してきた成年後見人等のうち21番目(平成26年1月受任)の男性が、昨年大晦日の12月31日に肺炎でお亡くなりになりました。享年83歳でした。

受任後5年間で3つの老人保健施設を転々としながら「終の棲み家」となる特別養護老人ホームへの入所許可を待ち、やっと昨年12月上旬に転入したばかりでしたが僅か1ヶ月足らずで逝去されました。特に持病もなく元気な方でしたので急逝は驚きでした。

同施設では、「明るい人柄で職員に好かれ、クリスマスのイベントや出前食事会でお寿司を食べるなど楽しく過ごしていた」と伺いました。本年1月6日午後2時より区内の桐ヶ谷斎場にて本会員の立会のもと荼毘に付されました。眠るような穏やかな顔は生前の性格を偲ばせるものでした。ご冥福をお祈りいたします。(杉山麻里子・青木誠 記)

## ◆情報交換会◆

1月19日、後見部会主催による後見担当者同士の情報交換会が開催されました(23名参加、13時半～17時、品川第一区民集会所)。新規受任(40号～42号)の案件について担当者から報告がなされ、これまでの負債分を後見担当者として支払った、自宅に住んでいるが部屋の中が乱雑である、等々の困難事例が発表され、意見交換を行いました。最後に小松統後見部会長から負担の大きい○移動先の施設選び○死後事務、について後見部会としてサポートしていく別働隊のようなものを作る事も考えている、との発言がありこの日の会議を成功裡に終了しました。その後の懇親会も参加者同士の交流を深め、有意義な一日でした、

# ◆活動の質向上で、飛躍の年に!!◆

理事長 古賀忠壹

年の初めに当たり、本会のさらなる発展を祈願しました。

去年は、通常活動のほか法人設立 10 周年の記念事業実施で回顧の年でもありました。

全会員に配布した映画とシンポジウムの「記録集」をもう一度、手に取って見てください。この冊子が出来上がる過程には、会員各位が現役時代に培った様々な知識や技術を提供、わずかな資金で見事に記念事業を成功させたことが雄弁に物語られています。

やればできる。皆さんのおかげです。

記念事業だけに力を注いでいたわけではありません。

後見部会の活動は、24 時間黙々と行われています。暮れの 31 日には受任 21 番目に当たる男性が死去、83 歳でした。担当者はその日から葬儀社への手配など大忙しです。正月 6 日、桐ヶ谷斎場で会員 5 人に見守られながら茶毘に付されました。

最近は、困難な事例にぶつかることも多く、「後見業務の質」を今以上に向上させたいものです。そのために、これまで培った実務のノウハウを皆で共有する方法を追求しましょう。

研修部会の市民後見人養成講座が、今年も 2 月に開催されます。社協開催の同様講座と競合していることもあり応募者数が気にかかりますが、講座内容や募集方法を再検討する時期に来ているかもしれません。

広報部会では、ホームページの見直しが進んでいます。会報同様、地味で根気がいる作業ですが、気合が入ってきたように思えます。内容について各位のご意見をお寄せください。

10 日夜、他の市民団体の集まりで、当会会員が成年後見と市民後見人について講演しました。私たちの運動の本質をついた良い内容だったと感じました。

こうした活動をさらに充実させましょう。

事務局は、私が事務局長を兼任していたころと比べ格段と充実、組織だった活動へ移行しています。そして、月 1 開催の「月曜カフェ」が、好評です。会員が、知識や技術を会活動で放出するだけでなく、コーヒーを飲みながら会員同士が毎回一つのテーマで話し合い、新しい知識を獲得することに楽しみを見出しているのではないのでしょうか。

高齢者文化を充実させることも会活動の一つであります。喜ばしいことです。

各部会の活動を点描してみましたが、今年も共に課題を整理しながら飛躍しましょう。

最後になりましたが、私個人が特に力を入れてみたいのは、昨夏のシンポジウムでお招きした各団体との連携です。「認知症になっても安心して暮らせる社会」の構築のために、まず同じような志を持つ団体と本格的に協議していきたいと思っています。それが法人として飛躍するとともに、社会貢献として一定の役割を果たすと考えているからです。

ご協力ください。

## ◆平成 30 年度 12 月度理事会議事録◆

1. 開催日時 平成 30 年 12 月 17 日 (月) 17 時 00 分～19 時 00 分
2. 開催場所 品川区本会事務所
3. 出席理事 朝倉鈴子、内山恵子、金城清、古賀忠壹、小松統、澤谷義則、杉谷徹夫、高橋宣子  
高原三平各理事
4. オブザーバー 青木誠監事

<審議事項> (特になし)

<協議事項>

- ① 平成 31 年度通常総会開催に向けての主な日程について協議した。総会開催日は、6 月 9 日 (日) に決まった。
- ② 次年度事業計画・予算提出書式について協議した。
- ③ 傷害保険加入について協議した。

<報告・連絡事項>

- ① 平成 30 年度業務指導委員会 (11 月 19 日開催) について別添資料により報告があった。(高原)
- ② 平成 30 年度第 2 回スキルアップ講座&忘年会について報告があった。  
スキルアップ講座は、第一部で小川雅之行政書士 (会員) による「相続の基礎」、第二部で古賀理事長他により「謝金制度について」説明があった。両講座とも活発な質疑が交わされた。参加者：スキルアップ講座 40 名、忘年会 28 名。(杉谷、高原)
- ③ 平成 30 年度市民後見人養成講座について連絡があった (申込期限 1 月 31 日)。(杉谷)
- ④ 「健康・生きがいメッセ」(12 月 8 日スクエア荏原) の報告があった。(金城)
- ⑤ 「生き生きシニアサロン」(1 月 10 日八潮プラザ) の連絡があった。(金城)
- ⑥ 後見部会による情報交換会開催 (1 月 19 日) の案内があった。(小松)
- ⑦ ライフサポート東京との懇談会 (12 月 1 日ブックカフェ来茶舗) 開催の報告があった。(高原)
- ⑧ 設立 10 周年記念事業の「記録集」が 12 月 16 日刊行された旨報告があった。(金城)

<今後の予定>

- ・監督人・後見人等連絡会 1 月 21 日 (月) 15 時 30 分～
- ・理事会 1 月 21 日 (月) 17 時 00 分～
- ・月曜カフェ 1 月 28 日 (月) 10 時 00 分～
- ・社協支援員交流会 2 月 15 日 (金) 18 時 00 分～
- ・地域でつながるみんなのくらし展 2 月 23 日 (土) 11 時 00 分～ (高原三平 記)

本号古賀理事長の文章にもあるように「生き生きシニアサロン」というセミナー (1 月 10 日、35 名参加) で青木誠会員に市民後見人について分かりやすく講演してもらいました。青木さん、大変お疲れ様でした。

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願ひ致します。

(編集 金城 清)